



# 加賀市医療センター —通信

## Vol.1

平成28年4月、加賀市民病院と  
山中温泉医療センターを統合し、  
加賀市医療センターが誕生します。



平成27年11月5日撮影



### 加賀市医療センター

Kaga Medical Center

石川県加賀市作見町リ36番地

## 加賀市医療センター建設までの経緯

平成16年度から新医師臨床研修制度が開始され、当地域においても大学病院からの派遣医師数が減少しました。このため、二次救急医療を提供する体制が整わず、平成21年には救急搬送のうち3分の1が市外へ搬送される状況になりました。また、加賀市民病院及び山中温泉医療センターのどちらの建物も老朽化しており、近年中に建替えや改修が必要でしたが、医療を継続しながら現地での建替えを行うことは困難でした。

これらの問題を解決するため、医師や看護師等の医療資源を集約し、設備の充実した新病院を市全体からの利便性が高い加賀温泉駅前に建設することになりました。

### 基本理念

## 「おもいやり」

私たちは、市民とともに、  
市民中心の医療を提供し、  
市民の健康を守ります

### 基本方針

1. 信頼される最適な医療を提供します
1. 救急搬送をことわらない体制を目指します
1. 将来を担う優れた医療人を育成します
1. 地域に根付いた医療を実践します

## 新病院は市民中心の医療を提供します。

来年4月1日に加賀市が運営する山中温泉医療センターと加賀市民病院を統合し、「加賀市医療センター」として誕生します。加賀温泉駅前に建築中の新病院工事は順調に進み、平成27年度中に完成して、平成28年1月には加賀市に引き渡しとなります。4月1日には加賀市民、両病院職員、加賀市が長年待ちわびた「安心・安全な生活に欠かせない病院」が開院を迎えます。

この紙面をお借りして、新病院のご紹介と目指す医療について述べさせていただきます。



参与 喜多 一郎

## 地域住民をはじめ、お世話になった方々へのお礼

病院の新築移転と同時に病院の歴史、運営母体が異なる山中温泉医療センターと加賀市民病院の二つの病院が一つになるという全国的にもまれな一大事業が完成します。この間、地域住民、加賀市医師会、大学の学識経験者、議会関係者の皆様には様々な委員会、審議会などを通じてご支援、ご尽力をいただきましたことに深く申し上げます。また、本年10月には公益社団法人である山中温泉医療センターの職員のほとんどが加賀市職員に加わっていただきました。待遇や新病院での業務などに少なからず不安や不満があったと思われかもしれませんが、感謝申し上げます。

なによりも、両病院の存在する地区住民の皆様には、離れた地域への移転により受診に不自由をおかけすることになりますが、ご理解いただきましたことにお礼申し上げます。

## 新病院の概要

新病院の病床数は一般病床255床、回復期リハビリテーション病床45床の計300床です。新病院建設の目的の一つは、二つの病院を統合して医療資源を集約し、効率的な医療体制を築くことでしたので、現在の2病院の合計425床よりは125床の減となります。

現在の両病院との大きな違いは2点あります。

### 1. 全室個室化

一般病室は公立病院としてはまれな全室個室となり、静かで快適な入院生活が送れるように取り計らいました。また、個室は全室同一形状で、差額ベッド代はいただきません。

### 2. HCU(ハイケアユニット)病棟の新設

10床のHCUでは疾患、病態の種類を問わず、重症患者さんの集中治療を行い、高度医療成績の向上を図ります。

## 運営面の進捗状況

これまでに地域医療審議会での市民、加賀市医師会、学識経験者の皆様よりいただいた討議内容に沿って、「運営調整会議」をはじめ各種作業部会を定期的に開催し、市民の視点に立った診療内容、設備、運営を目指して準備を進めてまいりました。現在は安全に両病院の患者さんや物品を移送する計画や、新病院での効率的な運営について職員一丸となって検討している段階です。移転に際し地域の方々、関係各位にご協力をお願いすることになりますが、よろしくお願いいたします。

## どのような病院を目指すのか

加賀市民と医療機関からの新病院に期待するご意見では、「救急医療体制の充実」が第一でした。この声に応えることは、新病院に課せられた使命であり、基本方針の一つとして「救急搬送をことわらない体制を目指します」と掲げました。

地域住民が元気で安心して暮らせることを目指した、「加賀市の地域医療を守る条例」には市民の努力目標とともに、医療関係機関には患者さんとの信頼関係を築くことが挙げられています。公的な恩恵を受けている自治体病院には、地域住民への貢献を第一に活動する義務があることを職員すべてが念頭に置いて、市民と「共」に新病院を育ててまいります。



正面ホール

正面エントランスから入ると、『ホスピタル  
ストリート』がまっすぐ奥まで続いています。  
その右側が、外来エリアとなっています。  
また、採血・採尿、内視鏡、放射線検査などを  
中央にまとめ、患者さんの移動をできるだけ  
少なくする工夫をしています。

**救急外来**

救急患者さんの移動を少なくするよう、救急センターの近く  
に、放射線検査、内視鏡などを配置しています。



**保育室「かもっ子」**

病気や病後のお子  
さんをお預かりする  
保育室「かもっ子」を  
設けています。



ホスピタルストリート



外来ラウンジ

2階には、化学療法室や腎臓ケアセンターを配置し、落ち着いた環境でケアを受けていただきます。  
また、健診センターは通常の診察とは別に2階に受付・待合を設けています。

**KMCホール**

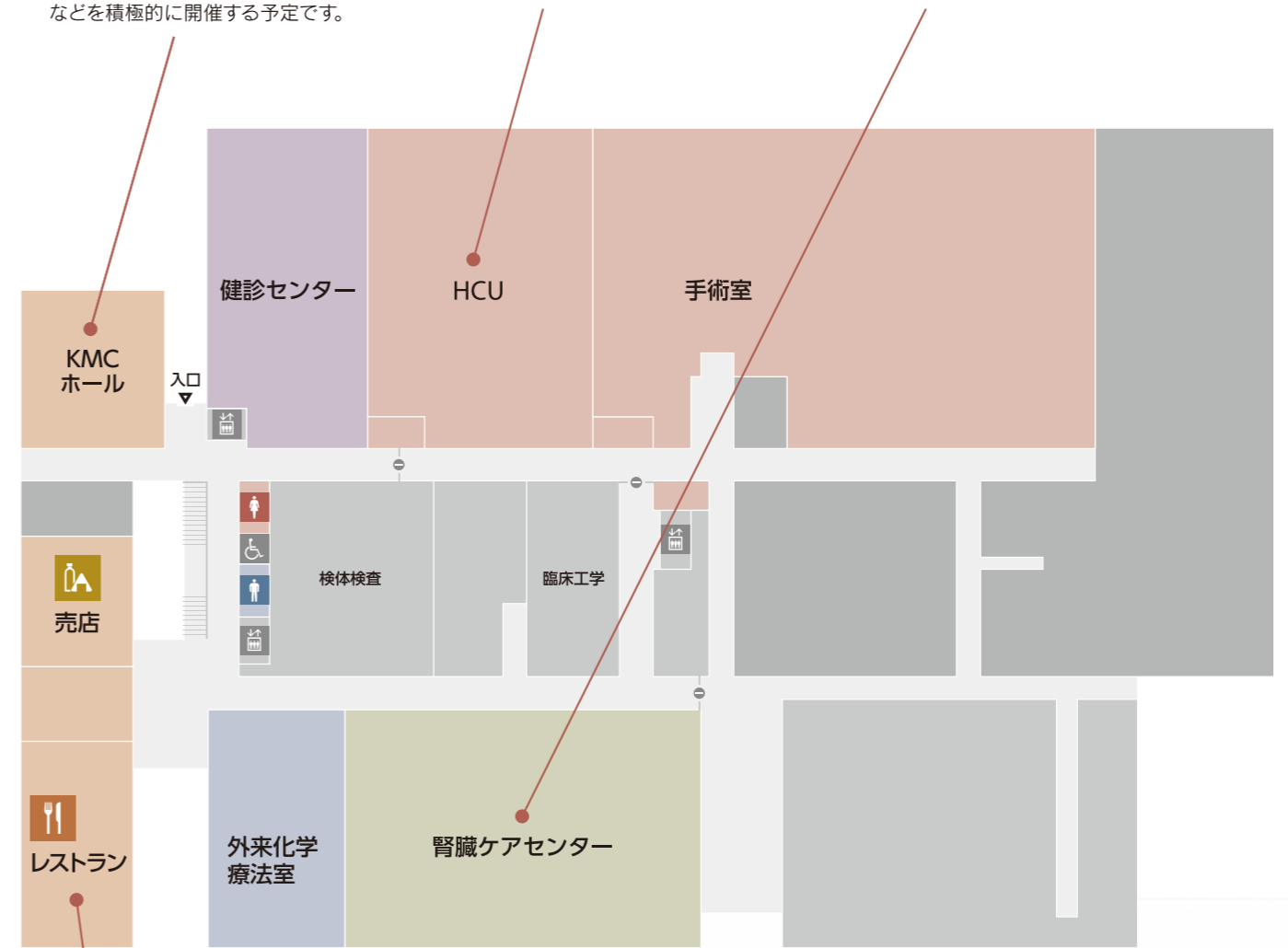
約180名を収容できます。  
医療や健康などをテーマにした講演会  
などを積極的に開催する予定です。

**集中管理センター (HCU)**

10床整備し、重症患者に  
対応します。

**腎臓ケアセンター**

血液透析など主に腎臓疾患に対  
するケアを行います。

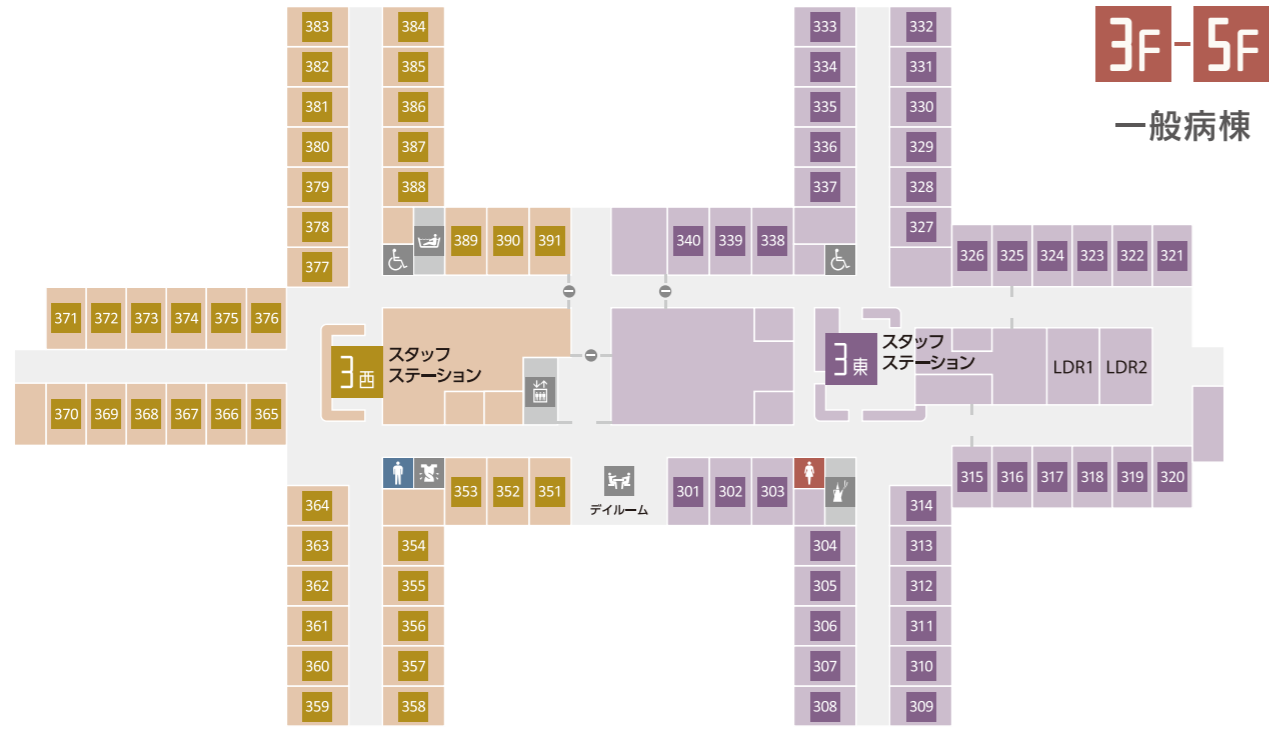


レストラン



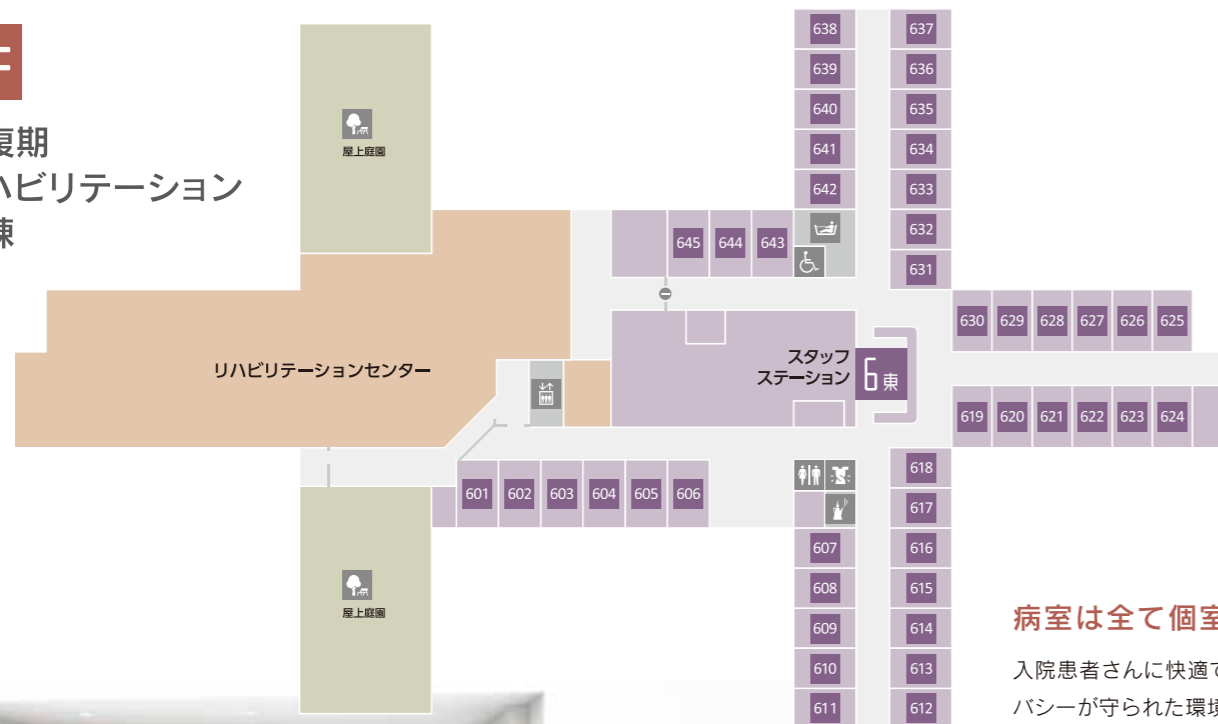
健診センター

# 病棟



3階～5階までが一般病棟、6階が回復期リハビリテーション病棟となっています。  
3階には、分娩を行うLDR室や新生児室を備える周産期病棟があります。  
6階にはリハビリテーションセンターも備えています。  
病棟は十字を二つ並べたような形をしています。十字の中心にスタッフステーションを置くことにより病棟全体が見渡せ、患者さんの見守りがしやすくなっています。

# 6F 回復期リハビリテーション病棟



## 病室は全て個室です

入院患者さんに快適でプライバシーが守られた環境で療養していただけるよう、全ての病室を個室にいたしました。病室にはトイレ付きのユニットシャワー、洗面台を設けており、空調についても個々の部屋で冷暖房の切り替えができます。なお、室料差額は頂かない方針です。

# 立地

- 加賀市医療センターは、県道をはさんで、JR加賀温泉駅やアビオシティ加賀の向いに位置しています。
- 病院の出入口は2箇所あり、一般の車はJR加賀温泉駅の交差点側の西出入口から、救急車などはアビオシティ加賀 交差点側の東出入口から出入りするようになっています。
- 駐車場は約450台分のスペースがあります。
- 路線バス、CANバスの停留所が病院前にできます。
- 車からの乗り降りの際に雨に濡れることがないように、正面エントランスの車寄せには大きな屋根を設けました。



病院概要



所在地	石川県加賀市作見町リ36番地
診療科	内科、循環器内科、呼吸器内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、神経内科、消化器内科、リウマチ科、外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、整形外科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、救急科、総合診療科(計25科)
病床数	300床〔一般病棟255床(うちHCU10床)、回復期リハビリテーション病棟45床〕
建物	延べ床面積：約26,700㎡
階数	地上6階(塔屋1階)
構造	RC造一部PSPC造(免震構造)